

平成27年（2015年）度

大野城市下大利団地区

第40回定例総会議案書

日 時 平成27年4月19日(日)午前 10時00分
(受付 午前 9時30分～)

場 所 下大利団地公民館 大ホール

下大利団地区

〒816-0951 大野城市下大利団地区
下大利団地公民館 ☎573-8440

総会には、この議案書を必ずご持参ください。

平成 2 7 年度定例総会次第

- 1 開会の言葉
- 2 区長あいさつ
- 3 議長選出
- 4 資格審査報告
- 5 議事
 - (1) 1号議案 平成 26 年度活動報告
 - (2) 2号議案 平成 26 年度決算報告
 - (3) 3号議案 平成 26 年度会計監査報告
 - (4) 4号議案 大野城市下大利団地区規約一部改正 (案)
 - (5) 5号議案 区費改定 (案)
 - (6) 6号議案 平成 27 年度・28 年度区長・会計監査(1 名)の選出
 - (7) 7号議案 平成 27 年度・28 年度副区長以下役員の選出
 - (8) 8号議案 平成 27 年度活動計画 (案)
 - (9) 9号議案 平成 27 年度予算 (案)
- 6 その他
- 7 議長退任あいさつ
- 8 閉会の言葉

平成26年度活動報告

平成26年度は、戦後最大の火山災害となった御嶽山の噴火被害をはじめ、猛暑・ゲリラ豪雨・土石流の多発など、自然災害が多発した年でした。一方、日本経済もデフレ脱却の回復基調に入ったとはいえ、業種間の隔たりや個人の格差のひずみが大きな社会問題となりました。また、「イスラム国」に象徴される様に一国平和主義や自己責任の問題だけでは、済まされない難しい問題も、目の前に突きつけられた年でもありました。

大野城市では「水城・大野城・基肄城1,350年事業」に向けて色々な行事に取り組んだ初年度でもありました。

下大利団地区では、今年も区の活動計画に基づき「下大利駅東線計画変更活動の推進」をはじめ、諸問題に正面から取り組んでいました。区業務全般に亘り、皆様のご協力を頂きお陰様で大きな問題もなく、円滑に区の運営を進めることができましたことを、役員一同厚くお礼を申し上げます。以下細部についてご報告いたします。

1. 恒例行事等

(1) 夏祭り

7月26日(土) 団地グラウンドで多数の住民参加のもと、夏祭りを盛大に実施しました。

子ども太鼓・盆踊りのほか、フラダンス、エレキバンドやジャズダンスなどの出演、地域の各グループの出店やお楽しみ抽選会で賑わい、住民相互の連帯と親睦を深めました。

(2) 体育行事

10月19日(日) 快晴のもと団地グラウンドで、グラウンドゴルフ大会を実施しました。

審判には、市グラウンドゴルフ協会の協力を頂き、約80人近くの人に参加し、和気あいあいのうちに競技を楽しみ、住民お互いの親睦を図ることができました。

(3) 「敬老の日」の記念行事

9月14日(日)に、大野城市と下大利団地区との共催で77歳以上の方(該当者275名中、出席者58名)を団地公民館にお招きしました。来賓として関岡俊実市議会議長、民生・児童委員の今里愛子さん・金城日出子さん・村田柳子さんを迎え、福祉推進委員会等の協力を頂き記念行事を開催しました。

式典に引き続き、舞踊・フラダンス・歌謡曲や女声合唱団の指導で、出席者全員による唱歌や祝宴などで楽しく過ごして頂きました。

(4) 文化・伝承行事等

- ア.七夕祭り〔6月28日（土）〕・凧作り凧揚げ大会〔1月11日（日）〕・雛壇飾り（2月上旬～3月上旬）や雛祭り〔2月21日（土）〕等の伝承行事を、田中 至 先生（29棟203号）や女性部をはじめ役員等の協力で実施しました。
- イ.西日本シティ銀行前と団地中央道路30棟・45棟北側広場に11月中旬～12月25日の間、クリスマスイルミネーションを飾り付けて、歳末の団地に彩りを添えました。住民の皆さんから出来栄や心が和むとの声が寄せられました。
- ウ.下大利団地で今年成人式を迎えた17名（男性7名・女性10名）の方に、社会人としての門出と今後のご発展・お幸せを祈念して「ケース入り印鑑」をお贈りしました。

（5）貸出文庫等

ア.文庫の貸出

地域貸出文庫ボランティアの小林京子さん（17棟504号）と区事務員が、公民館で図書の貸し出し等のお世話をしました。

貸出日	毎週水曜日	15:30～17:00	1階学習室
オープン図書	月曜日～金曜日	9:00～17:00	1階フロアー（右側奥の部屋）自由開放

なお、小・中学校の春休み・夏休み・冬休み期間の月曜日から金曜日に貸出文庫を開放しました。

イ.自学自習のための学習室の開放

小・中学校の春休み・夏休み・冬休み期間の月曜日から金曜日、公民館のお盆休みの8月12日・13日に自学自習のための学習室（10:00～15:00）を開放しました。

（6）福祉推進委員会

民生・児童委員、福祉委員をはじめ地域の福祉ボランティア15名の委員が、毎月第1金曜日に定例会を開催し、市地域包括支援センターや市社会福祉協議会と連携しながら計画的に福祉活動を実施しました。特に、高齢独居者・高齢世帯や子ども達の見守りを重視しながら日常の活動を進めてきました。

その他、高齢独居者の集いの開催、「敬老の日」の記念行事や「高齢独居者との交流会食会」等の協力、市介護サービス課の支援を受け「健康づくりミニディ」等を9回実施しました。

区では、福祉推進委員としてご協力頂ける方を探しています。ご協力頂ける方は、公民館までご連絡をお願いします。

（7）食生活改善推進会

20名の会員が食生活の改善について、家族・地域住民の食生活を通じての健康作りや食育の問題に取り組んできました。毎月第3木曜日に講師として栄養士を団地公民館に招き、食文化や調理実習を中心に勉強会を実施しました。また、高齢独居の方との交流会食会や下大利小学校ランドセルクラブの行事にも協力しました。その他、親子料理教室や男性料理教室（年10回）も実施しました。

食生活改善推進会では、食育に関心のある若いお母さんをはじめ、皆様の参加をお待ちしています。

（8）中央地区コミュニティ運営委員会

平成 26 年度、下大利団地区は、中央地区コミュニティ運営委員会体育部会を担当しました。今年は、大文字まつりの「御神輿」の取り止めや台風により「MADOKA れくスポ祭」が中止になりましたが、その他の業務は円滑に進めることができました。また、青色回転灯防犯パトロール隊として下大利団地区からも 11 名が参加し、中央コミュニティ 6 区の輪番制で地域の治安活動や子どもの見守りを実施しました。

(9) 趣味・学習活動等

ア. 公民館では、習字（大人・子ども）・珠算・絵画などのお稽古事、卓球・ジャズダンス・押花・パッチワーク・3B 体操等のサークル活動や国語・数学などの学習講座が開催されています。また、月に 1 回徳洲会病院の健康づくり講座(無料)が実施されました。(内容は、その都度、回覧板でご案内しています。)

イ. 老人憩の家では、カラオケ・民謡・健康麻雀・絵手紙等の趣味の集いが行われてきました。また、憩の家の隣には、古紙回収倉庫を設置していますので、新聞・雑誌・ダンボール等や布切れ・アルミ缶を個人で毎日持ち込めます。倉庫に入れる時は、整頓して収納して下さい。

2. 下大利駅東線計画変更活動等の推進

(1) 下大利駅東線計画は、平成 12 年に大野城市が独立行政法人都市再生機構（以下「UR」という。）と口裏を合わせ、計画を団地住民にひた隠し、下大利団地の 44 棟・45 棟・30 棟を取り壊し、団地を分断して御笠川に橋を架け、県道 112 号線に接続する都市計画道路として決定したものです。その計画（案）判明後に、東線計画（案）の縦覧公告で、団地住民 1,744 人が計画変更の意見書を提出しました。福岡県都市計画地方審議会は大野城市に対し、「住民とよく話し合う様に」と異例の勧告をしましたが、市は住民との話し合いを強く拒絶し、強引に計画を決定しました。計画内容にも大きな疑惑を感じますが、地元住民の人権を黙殺し、公権力を濫用した卑劣な手段が住民の激怒を買い、その直後の下大利団地区総会で、東線計画変更活動を進める緊急動議が提案され、議決されました。その時、区の特別委員会として「下大利駅東線計画変更対策委員会」が設置され、以来、同委員会が中心になり東線対策等を進めています。

(2) 東線計画は、今のところ表向きは目立った動きは見られませんが、大野城市の今までの団地住民に対する欺瞞行為を考え合わせると、何時、どの様な形で着工に向けて動くか判りません。区では、今後も情報収集に努め、注意深く見守っていきます。

(3) 大野城市地域防災計画の見直しで、平成 25 年 6 月に下大利団地グラウンドが災害時の一時避難場所に追加指定されましたが、これは市の災害図上訓練・防災計画説明会やパブリック・コメントの度毎に区から再三、市に要望してきたものです。その間 UR も団地区の要望を受け、地権者として市に直接避難場所指定の了承を伝えていますが、責任者の耳には届いていません。更に、市も図上訓練や防災説明会の度に、「今後、各公民館を回って計画を説明し、区の意見・要望等を聞きます。」と答弁してきました。しかし、区には一言の説明もなく、パブリック・コメントで提出された意見を審議するはずの防災会議でも、団地グラウンドの一時避難場所

の指定について質問や意見を述べた委員は一人もなく、全く議論もないまま放置されていました(第3回大野城市防災会議会議録)。

ちなみに、パブリック・コメントで提出された意見の総件数 14 件のうち、7 件は下大利団地グラウンドの一時避難場所指定に関する意見・要望です。このことは、市の関係職員の怠慢・無責任さと、大野城市防災会議が全く形骸化されていることを如実に物語っています。その後、「広報大野城」で、地域防災計画が策定されたことを知り、調べたところ、団地グラウンドが一時避難場所に指定されていない事が判明し、市長に直接問い質した結果、市は慌てて下大利団地グラウンドを一時避難場所に指定する手続きを進めたものです。

- (4) 市が、下大利団地グラウンドと下大利団地 4 7 棟間の団地造成以来、使い慣れた生活道路先を、住民に一言の説明もなく突然柵で閉塞した件も、初めは市の関与さえ一切否定するという常識では到底考えられない答弁を繰り返してきました。しかし、市は弁解できなくなり「歩行者の安全第一を考え、警察と協議し柵で閉塞した。」と言い訳をしています。本来、市(道路管理者)が従来と違う形で道路の「規制」をする場合、必ず利用者等の同意が必要です。しかし、市は警察署との協議にあたり、住民の同意はおろか一言の説明もなく道路を閉塞しています。警察署に住民の同意の確認について尋ねると、警察署は「一般の業者等ではなく、市が協議をかけてくるのだから、当然、住民の同意を得ているものと理解している。」と言っています。市は下大利駅東線計画以来、下大利団地での事業は、市の規則にも違反しこの様に卑怯な手口で、住民への説明もしないまま、なし崩し的に勝手に既成事実の積み上げで進めています。

市は、今回の地域防災計画の策定にあたり、「市民の生命等を災害から保護し、災害時の被害を最小化する。」と言っていますが、住民の目線で見れば、上記閉塞柵は避難行動者にとって大きな障害物ですが、市は「団地グラウンド付近の横断歩道柵は避難行動に支障はない。」と言い逃れをしています。

- (5) 今、44 棟西側に立てば良く判りますが、団地の周回道路(車道)の一部を廃止し(車両は通れないようになる)、その道路跡地を含む突出した土地を UR に宅地として交換分合するなど誰が見ても呆れ果てることばかりです。

そして、市の職員でさえ所管以外の人、その実体を知りません。現在、市長以下全部長などの幹部職員に「百聞は一見に如かず」の諺もある様に是非一度現地を見てもらうように要求し続けていますが、市は応じようとしません。この様に、市は性懲りもなく、過去の責任問題を反省することもなく、公務員として許されない同じ過ちを繰り返しています。今後も、市に行政の原点である計画の透明性と説明責任を尽くすよう猛省を促していきます。

下大利駅東線計画変更活動(下大利駅東土地区画整理事業を含む)は、区の活動計画の筆頭に掲げる重視事項です。皆様のご理解とご支援をお願いします。

3. 地域の治安・生活安全の確保

- (1) 下大利団地での犯罪等の発生件数は減少していますが、バイク・自転車の盗難・いたずら被害は散発していますので、駐輪車の施

錠や日常の管理に十分気を付けて下さい。事案が発生した時、区は事案の内容に応じて、警察や UR・市防犯専門官などと連携し、速やかな対応に努めてきました。区では今後とも地域の治安・生活安全には気を配っていきますが、皆さんも不審な様子を見掛けた時は「110番」通報などの対応をお願いします。

- (2) 児童の安全のため、もちのき会では下校時間に合わせて児童の出迎え・見守り活動を続けています。また、保護者や区の青少年育成部会によるパトロールも計画的に実施されています。緊急対応が必要な時には、福祉推進委員会の皆さんも迅速な行動をとっています。青色回転灯防犯パトロール隊の活動は前に述べたとおりです。
- (3) 秋口に下大利団地の数カ所に若者が終夜たむろした時期がありましたが、警察・教育委員会・PTA など関係者の積極的な支援も受け対応した結果、現在は平穏な環境を取り戻しています。
- (4) 団地内で、夜間の外灯が少ないために暗い場所が散見されるので、UR に照明の増設や若い人が群れやすい場所に防犯カメラの取付けを要望しています。また、市には公民館東側新川の上に駐輪場の新設を要望しています。
- (5) 大野城市では、3月8日(日)に地震災害を想定した中央コミュニティ総合避難訓練が実施されました。区でも「逃げタオル」運動を取り入れた避難訓練や消防署による「心肺蘇生・AED」の活用法、市の「災害避難についてのビデオ放映」等での研修を実施しました。その後、食生活改善推進会の炊き出しによる食事をとり、訓練を終了しました。警固断層に近い下大利団地地区では、この訓練を契機に一層の防災意識の向上につながることを願っています。

4. 地域の環境美化

春・秋、年2回の市のクリーンシティには、区の皆さんが参加し、地域の清掃・美化活動を実施しました。団地周辺の花壇・緑地帯は、団地ボランティアの皆さんの手で四季それぞれの草花が育てられ、住民の気持ちを和ませて頂いています。また、御笠川遊歩道・団地周辺・親水公園・御笠川も地域有志の方々の手でいつもきれいに清掃され、地域の皆さんや散策・ウォーキングをされている多くの方々からも感謝されています。区も、ボランティアの皆様への厚意に報いるためにも、更に住環境の整備に努めていきます。

しかし、一方では野良猫に餌を与えるため団地内で猫が繁殖し、子ども達が遊ぶ砂場を糞で汚しています。住民からの苦情も多く寄せられていますので、野良猫に餌を与えないでください。

5. 区費未納者の解消

区費未納者や転入者の方には、棟委員のご協力を頂きながら、役員も区費納入のお願いに努めてきました。区費未納の方には、負担の公平と地域の円滑な運営のため、今後ともご理解とご協力のお願いをしております。

なお、ご本人からの転入・転出などの連絡が遅れる場合がありますので、棟の皆様も転入・転出などがあった場合の連絡についてご協力をお願いします。

平成 27 年 度 行 事 予 定 表

下大利団地区

期	前						後						備 考
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
行政等		ｸﾘｰﾝｼﾃﾂ 日赤募金	大文字タオル協賛販売			大文字まつり 敬老の日の集い	赤い羽根共同募金	ｸﾘｰﾝｼﾃﾂ		社協会員募集			
中央地区 ｺﾐｭﾆﾃﾂ		中ｺﾐ総会				大文字まつり	MADOKAれくｽ祭	番茶の会 文化祭					
区 公民館	総 会 青パト①	ｸﾘｰﾝｼﾃﾂ		夏祭り 七夕祭り 青パト③	青パト④	敬老の日の集い 大文字まつり	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ｵﾌﾞ大会 番茶の会・中ｺﾐ文化祭 青パト⑤	ｸﾘｰﾝｼﾃﾂ 歳末警戒 大掃除 青パト⑥ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ	凧作り 凧揚げ大会 青パト⑦	雛祭り 青パト⑧ 青パト⑨		棟委員会(第1木曜日) 役員会(最終水曜日) 東線対策委員会(第3木曜日)	
文化部			定例会(中ｺﾐ)	大文字まつりパレード踊り練習 夏祭り踊り練習・夏祭り		大文字まつり	定例会(中ｺﾐ)	中ｺﾐ文化祭			中ｺﾐ研修会		
体育部				夏祭り		大文字まつり 分火式	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ｵﾌﾞ大会 MADOKAれくｽ祭				中ｺﾐ研修会		
女性部		味噌作り	花壇整備	七夕祭り 夏祭り		敬老の日の集い		花壇整備 味噌作り			雛祭り		味噌作り(第4土曜日)
青少年 育成部会			人権・同和問題 夏休み巡回補導 社会を明るくする運動 第1回パトロール 第2回パトロール 第4回パトロール 定例会 第3回パトロール(夏祭り)			大文字まつり 筑紫地区子ども会少年 団体指導者研修会	第6回パトロール	定例会 地子連ｸﾘｰﾝｼﾃﾂ(協力)	冬休み巡回補導	青少年育成環境 フォーラム研修会	反省会	春休み巡回	定例巡回補導 (第3土曜日)
子ども会 育成会	市子連総会 地子連総会 前期指導者研修会	ｸﾘｰﾝｼﾃﾂ・夏祭り太鼓練習・七夕祭り・夏祭り 歓迎会 ラジオ体操 イﾝﾘｰﾀﾞｰ事前研修 親子料理教室				大文字まつり ｲﾝﾘｰﾀﾞｰ本研修	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ｵﾌﾞ大会 MADOKAれくｽ祭 ｲﾝﾘｰﾀﾞｰ事後研修会	ｸﾘｰﾝｼﾃﾂ 中央地区子どもｸﾘｰﾝｼﾃﾂ		凧作り 凧揚げ大会	雛祭り 卒業進級お祝い会 後期指導者研修会 育成会総会		
食生活改善 推進会		開講式	脂質異常症改善		親子料理教室	視察研修	高齢者の健康と栄養	カロリー控えめの食事	睡眠12条	独居高齢者会食会	COPDと飲酒に ついて	閉講式	定例会(第3木曜日)
福祉推進 委員会	高齢者教室	高齢者のつどい ﾊﾞｽﾊｲｸ	健康づくりミニﾃﾂ	ミニﾃﾂ	ミニﾃﾂ	敬老の日の集い	ミニﾃﾂ 赤い羽根募金協力	ミニﾃﾂ		独居高齢歳末見舞 独居高齢者会食会	研修会	次年度事業計画	定例会(第1金曜日)
貸出文庫	春休み開放	図書整理		七夕祭り 夏休み開放		図書整理			冬休み開放		全市貸出文庫協議会・雛祭り 図書整理 春休み開放		毎週水曜日貸出 定期図書整理等
もちのき会 (老人会)	新旧理事会 もちのき会総会 ﾖﾂｸﾗﾌﾞ総会	研修会・ｸﾘｰﾝｼﾃﾂ ペタンク大会	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ゴルフ大会 研修旅行	七夕祭り 夏祭り 囲碁・将棋大会 健康講演会		敬老の日の集い 社会奉仕の日 歌謡音楽のつどい	研修旅行 健康講座 ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ ｵﾌﾞ大会	ｸﾘｰﾝｼﾃﾂ 総合福祉祭り 地区役員会	大掃除		下大利小朝礼会 地区役員会	反省会 次年度事業 計画案	古紙回収(毎月) 定例会(第4日曜) 防犯パトロール

下大利団地公民館 (573-8440)